

(参考)

県内建設業一斉監督指導の実施結果の推移（令和元年～令和6年）

岩手労働局の管内7労働基準監督署が令和元年から令和6年において実施した県内建設業一斉監督指導の実施結果を取りまとめました。

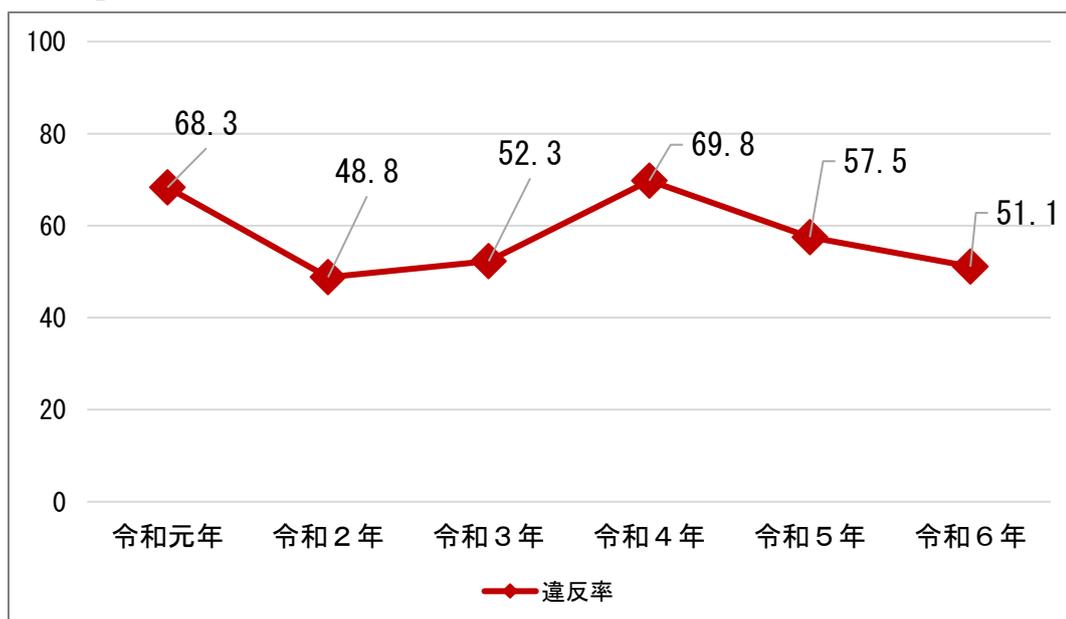
1 違反率の推移

監督指導を実施した現場のうち、法違反を確認した現場の割合（違反率）の推移は以下のとおり。

【表】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全体違反率	68.3%	48.8%	52.3%	69.8%	57.5%	51.1%

【グラフ】



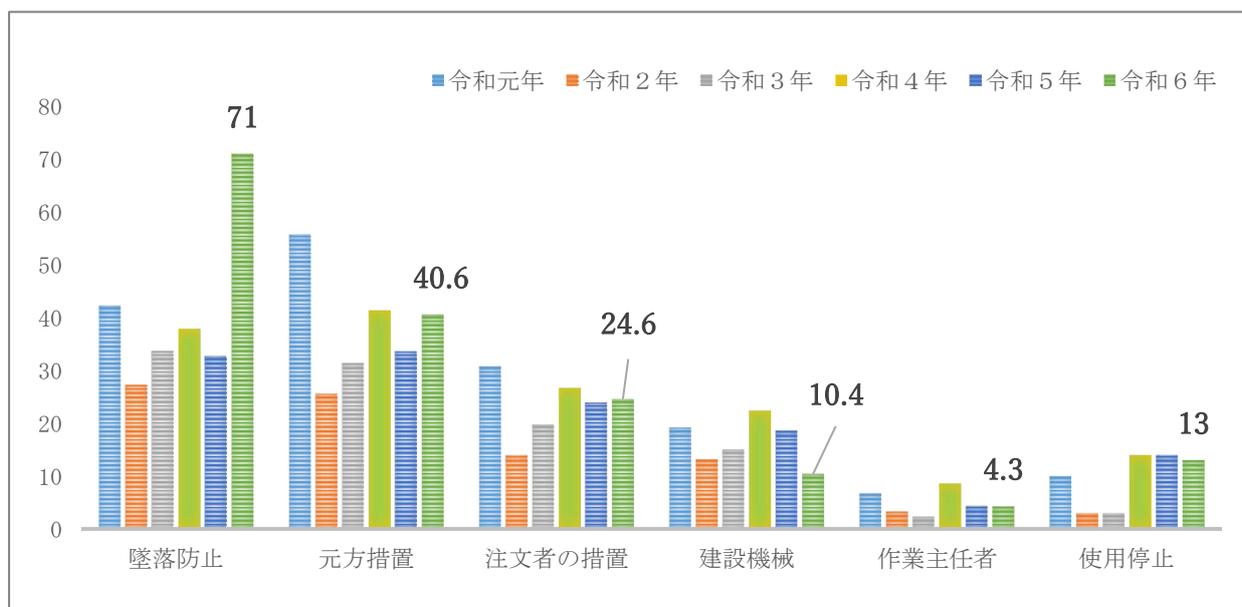
2 項目別違反率・使用停止等件数の推移

項目別（「元方事業者の講ずべき措置等*1」、「墜落防止措置*2」、「車両系建設機械・移動式クレーン災害防止措置*3」及び「作業主任者の選任・職務*4」の4項目）の違反率及び「使用停止等*5」の件数の推移は以下のとおり。（*1～5の具体的内容は別添1の2参照）

【表】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
墜落防止措置	42.3%	27.3%	33.7%	37.9%	32.7%	71.0%
元方の措置	55.8%	25.6%	31.4%	41.4%	33.6%	40.6%
注文者の措置	30.8%	14.0%	19.8%	26.7%	23.9%	24.6%
建設機械	19.2%	13.2%	15.1%	22.4%	18.6%	10.4%
作業主任者	6.7%	3.3%	2.3%	8.6%	4.4%	4.3%
使用停止	10件	3件	3件	14件	14件	13件

【グラフ】



3 墜落制止用器具（安全带）の使用数の推移

監督指導を実施した現場のうち、「墜落制止用器具（安全带）を使用している現場数」及び「胴ベルト型墜落制止用器具（安全带）を使用している現場数」並びに「フルハーネス型墜落制止用器具（安全带）を使用している現場数」は以下のとおり。

【表】

墜落制止用器具（安全带）を使用している現場数	71
胴ベルト型墜落制止用器具（安全带）を使用している現場数	26
フルハーネス型墜落制止用器具（安全带）を使用している現場数	56

※「胴ベルト型」と「フルハーネス型」の両方を使用する現場があるため、合計は一致しない。

【グラフ】

